

平成19年度 大学院人文科学府博士後期課程（第2期）編入学試験問題
（西洋史学）

1. 以下の史料を分析した上で（内容を小さな単位に分けてまとめながら、要約すること）、必要な注釈をほどこせ。なお、感想に流れることのないよう注意すること。また、解答においては、短くとも論文としての形式を踏襲するよう留意すること。

（ウェブ公開版では著作権上の問題により、問題文原文を削除した）

問題文は、ラテン語文書史料全文106語である。

平成19年度 大学院人文科学府博士後期課程（第2期）編入学試験問題
（西洋史学）

2. 仏文和訳

（ウェブ公開版では著作権上の問題により、問題文原文を削除した）

問題文は、フランス語の時事評論文から、168語を引用したものである。

3. フランス革命が持っていた「複合革命」的な性格について、論じなさい。